

概要説明資料

恵那市財政計画 将来推計資料

令和3年9月(改定)

恵那市総務部財務課

恵那市の財政計画は、第2次総合計画から、その一般財源資料として作成しています。令和2年度に第2次総合計画後期計画及び第4次行財政改革大綱を策定するため、最新の決算値に更新をし、計画等の終期である、令和7年度までの財政計画を見直しました。以降毎年の決算値に更新を行い改定をしています。この中では、総合計画に位置づけられる大型の事業については、投資的経費の枠組みを設定し、その中で実施できるようにしてあります。

-令和3年度 主な改定点-

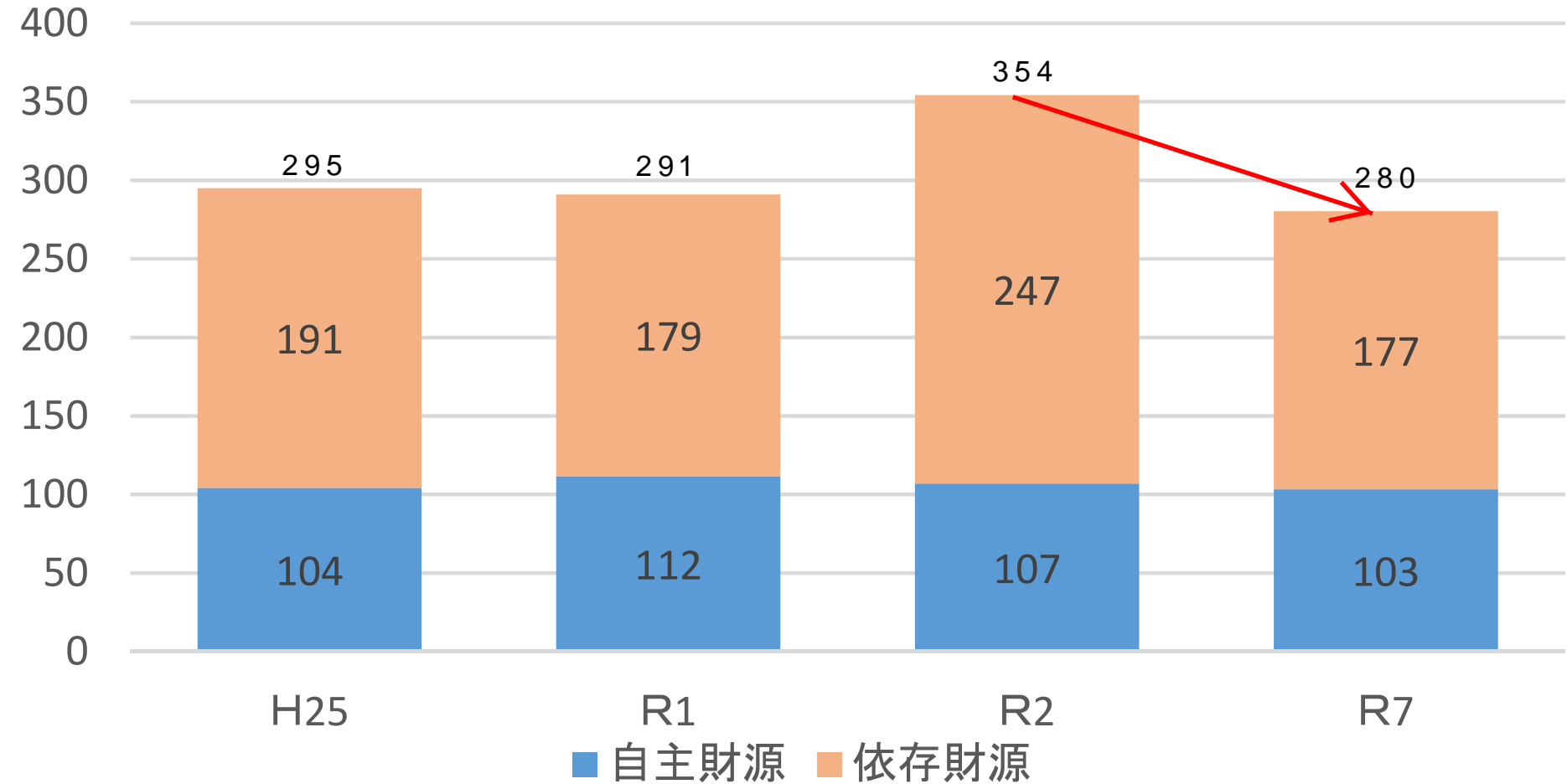
- 令和2年度決算値を反映
- 新型コロナウイルス感染症による影響により、以下の部分を見直し
 - ・対策経費について、補助費、物件費に必要額を計上。
 - ・個人、法人市民税及び固定資産税の特例による減収を見込んだ。
- 地域デジタル社会推進費の新設に伴い基準財政需要額を増額。
伴って普通交付税（臨時財政対策債振替前）が増。

自主財源、依存財源ともに減少の見込み

74億円減
(R1比11億円減)

歳入(性質別)

(億円)



自主財源：市税、負担金、使用料、手数料など

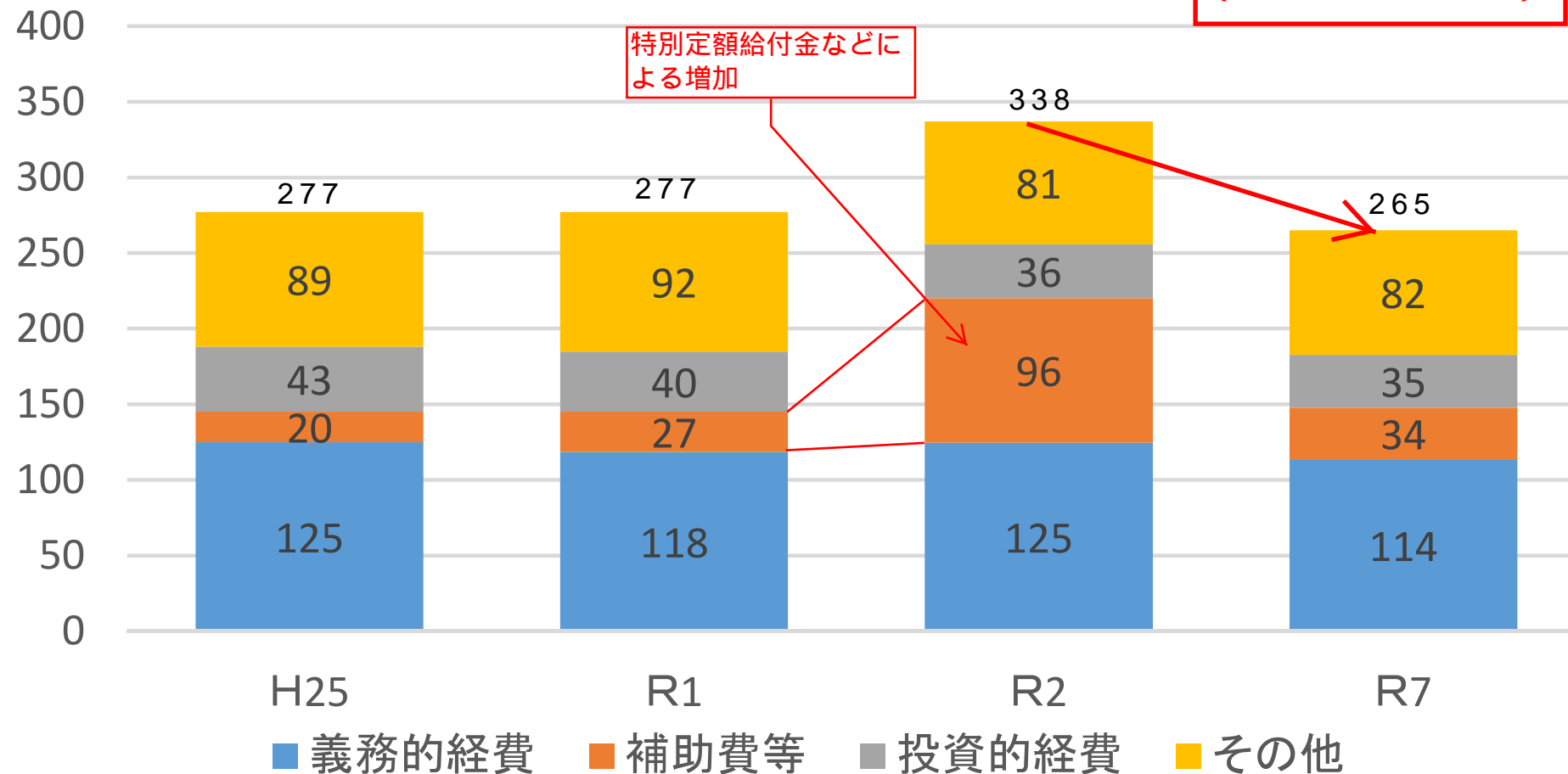
依存財源：地方交付税、国庫支出金、県支出金、市債など

義務的な経費+補助費(必ず必要なお金)は減らない

歳出(性質別)

73億円減
(R1比12億円減)

(億円)

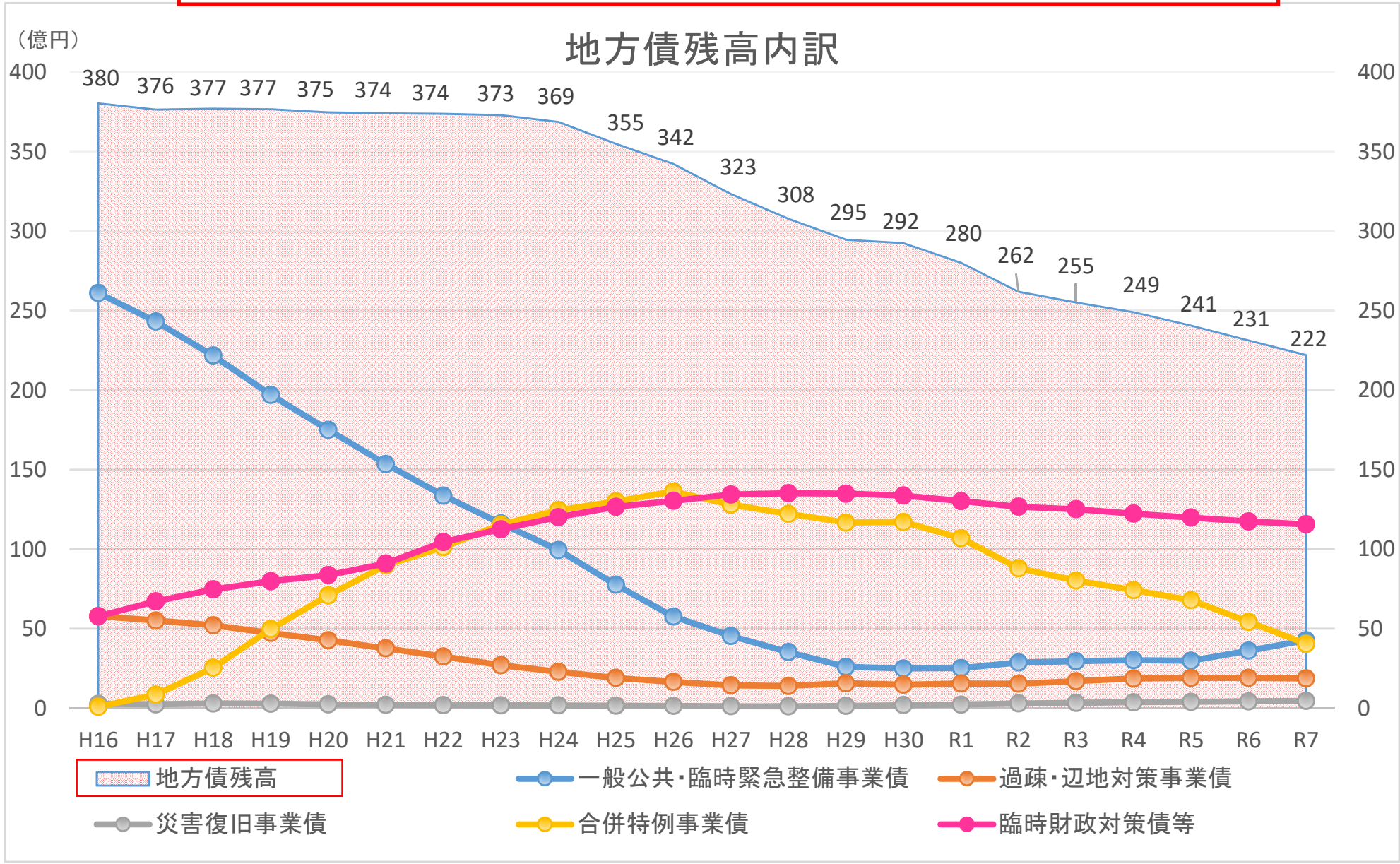


義務的経費：人件費、扶助費、公債費

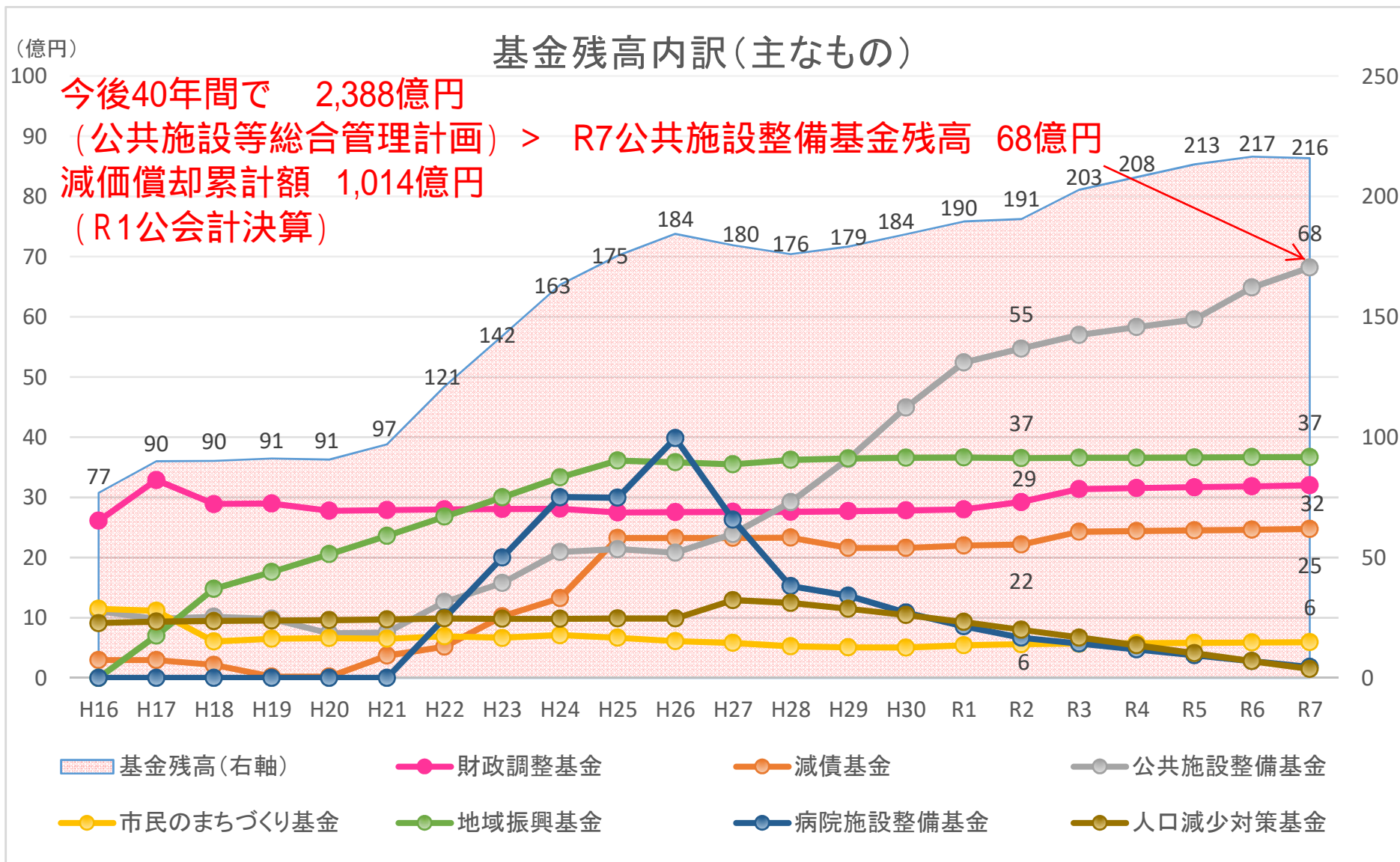
補助費等：補助金や国民健康保険や介護保険をはじめとした他会計への支出金など

投資的経費：道路や学校など公共施設の建設や改修の経費

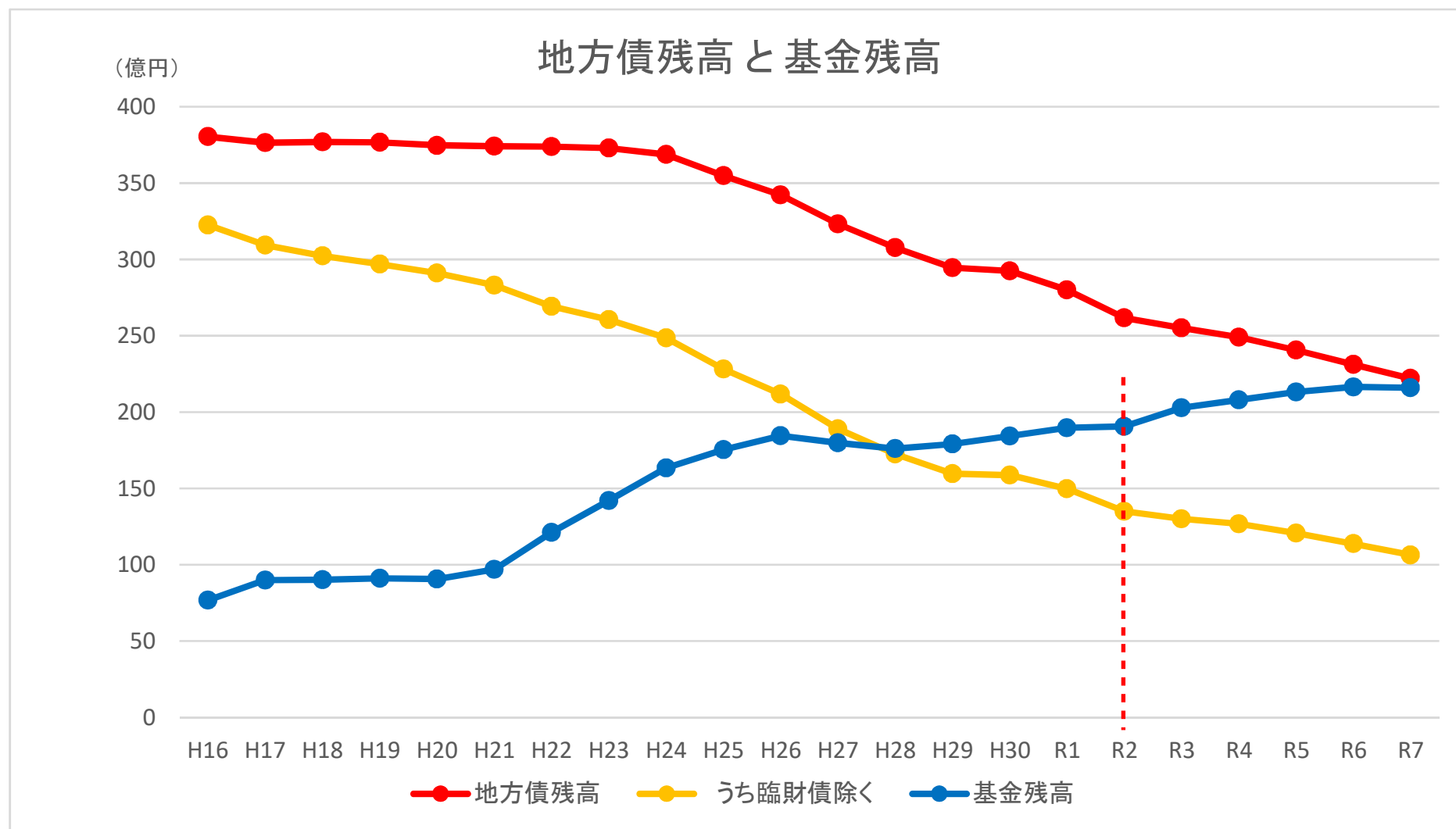
地方債(借金)残高は222億円に減少



公共施設の大規模改修等 財源の不足 基金(貯金)を活用

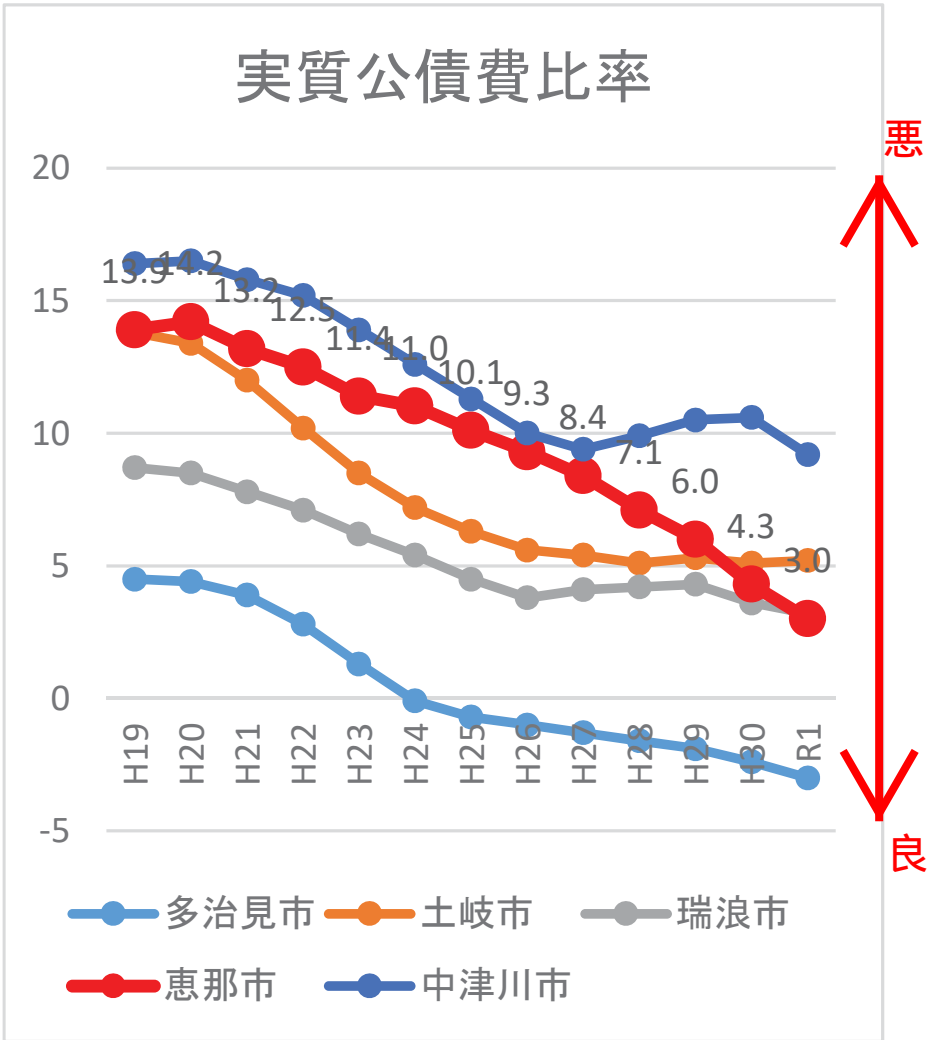
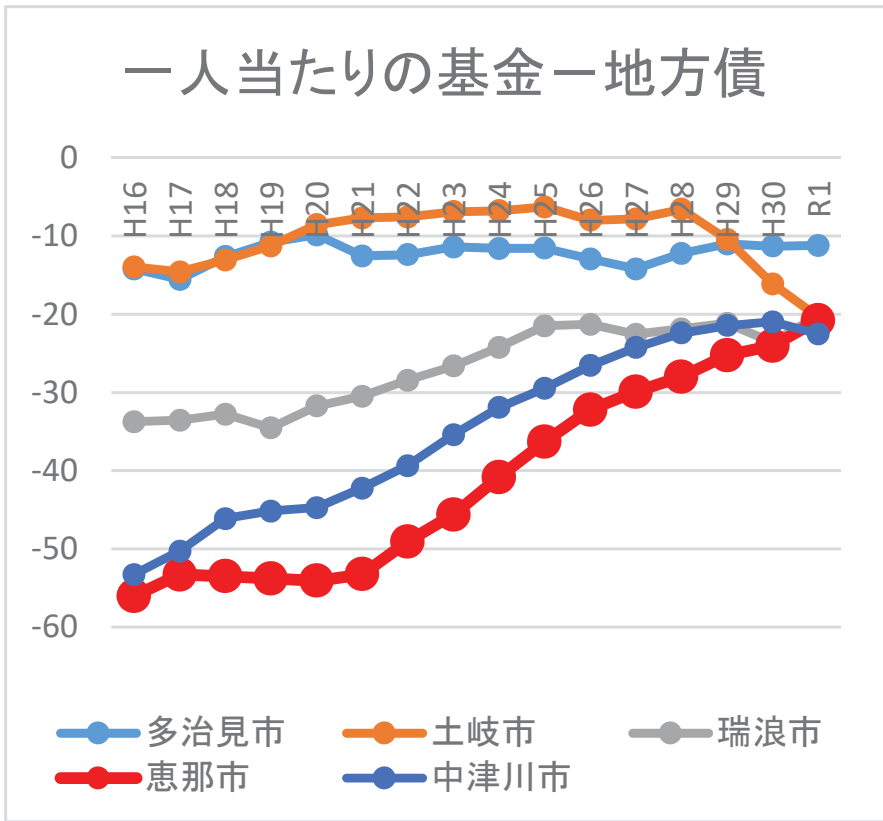


実質的な地方債残高(借金)は基金残高(貯金)より少ない



臨財債(臨時財政対策債)・・・臨時財政対策債の元利償還金(返済金)相当額は、その全額を後年度の普通交付税によって補てんされることになっています。

東濃他市比較では実質的な借金、実質公債費比率は中位



実質公債費比率：地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。